

## Information

### グループホームの入居者募集中！

現在、女性専用のグループホーム「ハーモニーやまなみ3号」に空室があります。見学、体験就労、ご相談等、随時対応しておりますので、お気軽に下記までご連絡下さい。

また、「ハーモニーやまなみ3号」以外の空室状況の確認についてもご連絡をお待ちしています。  
TEL 0279-54-2947（松岡・小林・安田まで）

### 就労継続支援B型事業所の利用者募集中！

山脈の運営する3つの就労継続支援B型事業所「みやま工房」「キッチンハウスみやま」「麦のゆめ」では、一緒に働く仲間を募集しています。

就労継続支援B型事業所は、「就職に向けて働く習慣を身に付けたい。」「就職はまだ自信がないけど働いてみたい」「昼間、活動する場所が欲しい」「友達や仲間が欲しい」と言った方にご利用頂けます。

見学、体験就労、ご相談等、随時対応しておりますのでお気軽に下記までご連絡下さい。

みやま工房 TEL 0279-54-2947（小野・佐藤）

キッチンハウスみやま TEL 0279-20-5817（船津・大井）

麦のゆめ TEL 0279-25-8866（芦川・藤本）

### 令和5年度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

### 山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

**発行** 特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 賢一

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2（みやま工房内）

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：[rep@npo-yamanami.jp](mailto:rep@npo-yamanami.jp)

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」  
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」  
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」  
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

（文責：笹澤賢一）

NPO  
法人

# 山脈ニュース

2023.9

No.242

## きょうされん第46次国会請願・募金運動の報告

きょうされんの第46次国会請願署名・募金運動が5月25日に4年ぶりに実施された国会請願行動を以て佳境を迎えました。全国から集まった300人を超えるきょうされんの仲間たちが、全国国会議員を訪問し「実態を知ってほしい」、「紹介議員になって欲しい」と自分達の願いを言葉にして直接伝えてきました。

全国42支部の会員の皆さんが署名・募金に取組み、以下の署名と募金が集まりました。心より感謝いたします。

**署名70万3,288筆 募金2,479万4,667円（最終集計値）**

### ◆第46次国会請願署名の紹介議員

会派	国会議員	紹介議員	紹介議員比率	会派	国会議員	紹介議員	紹介議員比率
自由民主党	380	64	16%	日本共産党	21	21	100%
公明党	59	8	14%	れいわ新選組	8	6	75%
立憲民主党	137	106	77%	その他（無所属等）	21	13	62%
日本維新の会	62	12	19%	合計	711	242	34%
国民民主党	23	12	52%				

「紹介議員」とは、国会や地方議会への請願署名を提出するために必要な議員のことです。国会や地方議会は国会法79条や地方自治法124条で「議員の紹介により請願書を提出しなければならない」としているため、紹介議員が必要です。紹介議員は、請願の主旨を十分に理解し、国会や地方議会に請願することに賛同した議員のことです。

第46次国会請願においては、きょうされんが掲げた請願の主旨に711人の国会議員中、242人の国会議員さんが賛同し、紹介議員になって頂きました。しかし、それでも34%です。特に国会議員の過半数（61.7%）を占める与党（自由民主党、公明党）の国会議員さんの紹介議員比率が低く課題です。請願の実現のためには、採決に影響力のある与党議員さんに請願の主旨を理解し紹介議員になった頂くことが重要です。自由民主党の国会議員さんに紹介議員のお願いをした際、「請願内容が党の方針に沿わない」と断られるケースがあったことはとても残念でした。

群馬県には衆参合わせ10人の国会議員がいますが、中曽根弘文参議員議員（自由民主党）、福重隆浩衆議院議員（公明党）のお二人に紹介議員になって頂きました。この場をお借りし改めて感謝申し上げます。

### ◆政党懇談会と厚生省懇談

厚生省懇談は、国会請願行動当日（5月25日）に対面にて実施されました。また、政党懇談会は6月5日～7日にオンラインで日本共産党、立憲民主党、国民民主党、れいわ新選組の4政党、国会閉会後に社民党、公明党の国会議員さんと懇談することができました。きょうされんからは、17支部のべ83人が参加し、直接国会議員さんに実態を伝え、願いを届けました。ここでも、自由民主党との政党懇談会が実施されなかったことは残念に思います。政党懇談会についてはきょうされんのHPや会報誌「月刊 TOMO 7月」に詳しく紹介されていますのでご覧下さい。

### ◆第46次国会請願署名の審査結果

衆議院でも参議院でも、残念ながらきょうされんの請願は与党を中心に反対意見が出て不採択となりました。特に「日額払いから月額払いの報酬体系へ」を求めた請願については、与党議員さんに十分な理解を得ることができませんでした。日額払いの報酬体系はコロナ禍の利用控えの際にも障害福祉サービス事業所の運営に大きな影響を与えました。

きょうされんが要望する月額払いの報酬体系は、2006年から始まった「障害者自立支援法」の違憲訴訟を経て、時の民主党による政府と「障害者自立支援法を廃止し、障害者の意に沿った新しい総合支援法に作り直すこと」で基本合意し、新しい法律の中身としてまとめられた「骨格提言」に基づきます。その後、再び自民・公明による政府に代わり実現に至りませんでした。この「骨格提言」に基づく障害者政策の実現をあきらめることはできません。

きょうされんの請願内容は障がいのある人や家族・職員の願いです。この願いに共鳴してくれる人をもっともっと増やしていきましょう。

※データ等、きょうされん組織・運動委員会 2023.8.1 報告より抜粋しました。

## 【星の会 かわら版No.7】

### 群馬県知事選と星の会の願い

7月23日、群馬県では県知事選挙が行われました。7月6日に告示され、4年間の実績を掲げ再選を狙う山本一太氏、「福祉日本一の群馬に」を掲げた石田清人氏、「廃県、生活圏ファースト」を訴える清水澄氏による真夏の選挙戦が繰り広げられました。結果は過去最低の投票率29.65%の中、現職の山本一太氏が2位の石田清人氏に28万票以上の大差をつけ2回目の当選を果たしました。

今回、「星の会」では県知事選に際して、「何かできることはないか!」と考え、行動に移しました。それは、山本一太氏の選挙事務所の訪問です。そして、山本一太氏に会い、「マイノリティー」の名誉回復を訴えることとしました。

#### 【星の会とは】

まずは最初に、「星の会」を御存じない方もいらっしゃると思いますので簡単にご紹介致します。「星の会」は、2021年夏、障がいのある当事者の遊び仲間で結成されました。主要メンバーは就労継続支援A型事業所に通うHさん、Sさん、そして、就労継続支援B型事業所に通う私の3人です。なお、私は普段、「トシキマイノリティライター」のペンネームで執筆活動をしています。この3人の他に自由メンバーが6人います。「星の会」は、医師、看護師、事業所の職員など医療や福祉関係者を頼らず、そして、医療法人をはじめとする関係法人に所属することなく当事者だけで結成しました。結成当初は、名称を「俺の会」としましたが、2023年3月1日、「星の会」と改名しました。

その活動目的は、「障害者のことをもっと世間一般に知ってもらうこと」とし、「障がい者の俺たちにも何かできことがあるのではないか」という志をもって集った仲間です。そして、まずは「かわら版を作ってみよう。世間一般の人達に読んで貰おう」とかわら版を作りました。資料を集め、本を読み、障がい者の生の声を聞いて回り、現在までNo.6まで発行しました。かわら版はNPO法人山脈の協力により、「やまなみニュース」に取り上げてもらったり、折込みで一緒に配布してもらいました。「やまなみニュース」は毎月、群馬県内を中心に役所、医療や福祉の各機関、障がい者とその家族など300か所余りに配布されています、是非、このかわら版をひとつの社会問題として読んで欲しいと願います。

「星の会」はこれからも頑張ります。いつまで続くかはわかりませんが、私達が障がいという重荷を背負ってしまった以上、天命として活動をしたいと思います。

#### 【山本一太氏に伝えたい5つのこと】

選挙事務所を訪問するにあたり、私は次の5つの要望事項を手紙にしたためました。

- (1) マイノリティーは劣った人だと教えてきた思想「優生思想」のなき社会作りをお願いしたい。間違ってもマイノリティーは要らないという偏った思想による事件「相模原事件」は起こしてはならないと思う。
- (2) マイノリティーが信じている施設などの充実をお願いします。信頼していた施設で事件が起きたケースもある。親御さん達も施設を信頼して、お金も払っていたのに利用者が被害となった性犯罪が起こった。そんなことが二度と起こらないようにしてもらいたい。
- (3) マイノリティーの活躍の場を増やして欲しい。社会的弱者を基準にした考え方、マイノリティー基本法を制定して欲しい。希少価値のあるマイノリティー。マイノリティーにしかわからないことを汲んでほしい。
- (4) 最近、流行りのマイノリティービジネスの支援を考えて下さい。マイノリティーはお金に苦労しています。だから、自らビジネスをすることを考える。その手助けをして下さい。
- (5) やはりマイノリティーは社会の中に生きる。ニートも含めて潤いのある建設的な地域にして下さい。誰もが平和を望んでいます。仕事も家庭もごく普通に持ちたいと考えています。

#### 【山本一太選挙事務所訪問】

7月8日(土)、「星の会」を代表し、Hさんと私のふたりで前橋市にある「ホテル1・2・3前橋マーキュリー」の2階に開設された山本一太氏の選挙事務所を訪問しました。

受付をすまし、会場に入ると群馬県議会議員の鈴木数成氏が僕達ふたりを出迎えてくれました。そして、椅子を勧

められ座っていると、向こうから県議会運営委員会委員長を務める星名建市氏がやって来てくれました。早速、Hさんと私がそれぞれに持参した手紙を手渡しました。その場で、星名建市氏が読んでくれました。そして、一読すると大きく頷かれました。最後に星名建市氏、鈴木数成氏、Hさん、私の4人で記念撮影をしました。

山本一太氏には直接お渡しはできなかったけれども、「星の会」の願いが届き、群馬県がマイノリティーの為に大きく変わることを期待します。



(星の会 T)

### 群馬県知事候補 山本一太様 (Hさんの手紙より)

僕は統合失調症を抱え群馬で暮らしています。発病の原因は色々ありますが、中学生の頃、経験したいじめもそのひとつです。大学卒業後、就職しましたが、病気の症状が酷く仕事が続かず家で寝ているだけで、また、家庭内暴力もありました。3回くらい入院を繰り返し、その後15年位はアルバイト、そして、就労継続A型事業所で、年単位で働けるようにもなりました。今は、渋川市にある就労継続A型事業所で働いています。そして、今年中には中之条町のクリーニング屋に就職する予定です。障害者としては割と「頑張っている」みたいですよ。

障害者でもちゃんと頑張っている人もいます。だから、犯罪が発生すると「犯人は統合失調症でした」と放送するのはやめて欲しい。むしろ健常者で犯罪を犯す人の方が問題だと思います。「統合失調症＝犯罪者」ではありません。

昔、「ハンセン病者」、「同性愛者」は差別されてきてけど、今では堂々と生きていける社会になりました。でも、そういう人達は「メンタル」が強く、どんどん自分達で発信し市民権を得ています。最近では「同一性障害」などのマイノリティーの人達も認められ、そのことが国会でも審議されるようになりました。とても良いことだと思います。

しかし、精神病の人は負い目を感じ病気を隠したりします。みんな遠慮がちで内に秘め自ら発信できない。統合失調症の人で入院している人、入院経験のある人はそのことを非に思っ隠したり、弱気になって何も言えない。

「星の会」の僕らは堂々と統合失調症であることを言います。障害者でも同じ人間、そして、弱い立場だけど健常者と同じに人権を持って生きている。障害者とか弱い人達も堂々と生きていける世の中にして欲しいと思います。

後は精神科病院の「保護室」の問題です。精神科病院は犯罪を犯していない患者さんを保護室「独房」に閉じ込めます。それも、何日も、何カ月も、そして、ひどい時は何十年も入れられます。これは死刑囚が刑の執行を執行する当日に告げられるのは人権侵害と訴訟を起こしているのと同様に人権的に許されません。保護室は、医療的には仕方がないのかもしれないけど、入れられる人のあのもの凄く辛さを考えて欲しいと思います。

僕も3つの病院の一般病棟に入院した経験があるのですが、どの病院でも必ず辛くて夜に大声を出しながらドアを叩く患者がいました。看護師は「甘えている」と言うのですが、あれは本当に辛いと思います。

これは僕が中学生の時、初めて入院した病院で見た光景です。その病院にはK君という患者がいて、「暴れてはいけない」と柔道の帯で柱に縛り付けられ、K君は「ここは刑務所みたいだ」と叫んでいました。また、面会を希望するK君の両親に「もう白痴で会ってもわからないですよ」と耳を疑う残酷な言葉を看護師から告げられていました。認知症のBさんを看護師がふざけてK君を押し倒し血が出た時には、看護師は「勝手に転んで血が出たことにすればわからない」と言っていました。そして、点滴の時間に遅れたというだけで点滴の棒で滅多打ちされていました。

病院も患者も病院内のことを隠したりします。病院は実態を隠したりします。精神科病院はもっと風通しを良くしないと腐ってしまいます。戸塚ヨットスクールみたいな座敷牢が現実に精神科病院にはあります。戸塚ヨットスクールも精神科病院等も死者が出てはいけないと思います。死者が出なければいいと言う問題ではなく、また、死者が出たから悪いのではなく、そうした人権侵害の実態があることが悪いと思います。

(俺の会 H)

※尚、長文の手紙の為、紙面スペースの都合により、Tさん、Hさんの了解を得て内容を要約し掲載しました。